

週刊 女川湾海況速報 (No.37)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

4 月 1 日から 5 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で上昇し、7°C台を示した。経時的には 2 日に表層（0m）で上昇し、底層（6m）では 3 日と 4 日に上昇。塩分は先週と比較して全層で下降し、経時的にも 3 日と 4 日に全層で下降。水温の上昇は気温の上昇の影響、塩分の下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	4月1日 (月)	4月2日 (火)	4月3日 (水)	4月4日 (木)	4月5日 (金)
0	7.0 (32.2)	7.4 (32.5)	7.4 (31.8)	7.5 (31.6)	7.4 (32.3)
6	7.2 (32.8)	7.1 (33.3)	7.3 (31.9)	7.4 (31.7)	7.1 (32.7)

水温の単位は°C。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

*1 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には 4 日に全層で上昇し、7.7FTU 以上の高い値を示した。（単位は FTU）

水深 [m]	4月1日 (月)	4月2日 (火)	4月3日 (水)	4月4日 (木)	4月5日 (金)
0	0.9	1.2	1.5	7.7	2.6
6	1.4	1.5	2.2	14.2	6.6

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、11~13mg/l 台を示した。経時的には 2 日に全層で上昇した後、3 日と 4 日に下降し、4 日は全層で 11mg/l 台を示した。

水深 [m]	4月1日 (月)	4月2日 (火)	4月3日 (水)	4月4日 (木)	4月5日 (金)
0	11.9	12.8	11.7	11.5	11.6
6	12.7	13.3	12.1	11.6	11.8

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.7~7.4°C、31.7~33.7 パーミルの範囲にあった。水深 10m 以浅の 32.0 パーミル以下の低塩分は降水の影響と推定。濁度は 4.0~6.7FTU の範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は 9.1~12.0mg/l の範囲にあり、底層で最小。

4 月 4 日

水深 [m]	水温 [°C]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.4	31.7	4.2	11.7
5	7.2	31.7	5.5	11.7
10	7.4	31.9	5.4	12.0
15	6.8	33.6	4.0	9.9
20	6.7	33.7	6.7	9.1

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。